

# 親子聖書日課

NO.1773 2022.9/18-24

名前

[日]祝福を得るために、手段を選ばぬとはもつてのほかです。母の狡猾な企てで父を騙したヤコブは見習えません。祝福を願う動機は、見習うべきです。礼拝も神の祝福を頂くためにあるのですから、あらゆる手段を講じて、出席しましょう。

[月]祝福は幾つありません。「祝福はたった一つしかない」のです。エサウはいつでも祝福が得られるとルーズだったのに対して、ヤコブはチャンスを生かして一つしかない祝福を得ました。今日のヤコブになって、主の祝福に与りましょう。

[火]自分よりも他人が祝福されると「憎むようになる」のは、世の常です。エサウがヤコブを殺そうとしたのも、憎しみでした。仲の良い兄弟でも、憎しみから殺人が起こります。「主よ、憎しみではなく、愛する心を与えて下さい」と祈りましょう。

[水]神は私達が眠っている時も働かれ、石を枕にして、不安な気持ちで寝ていたヤコブに「私は共にいる」と確信を与えました。この確信があれば、どこでも神の家となり、豊かな礼拝が捧げられます。神の恵みに応えて、十一献金をしました。

[木]ヤコブは今までの「事の次第を全て」ラバンに話しました。狡猾な自分の姿を何一つ隠さず、さらけ出しました。この真実さがラバンの心を打ちます。私達も主の赦しを頂いたのですから、ありのままを隠さず話しましょう。それがよい証です。

[金]人間は一方では人を愛しますが、もう一方では人を騙す罪深い者ではないでしょうか。ヤコブがそうでしたね。彼は自分を騙したラバンを怒りますが、自分こそ祝福を得るために、イサクとエサウを騙したのです。悔い改めるべきは自分自身です。



[土]子宝は神の祝福のしるしというわけで、レアとラケルは競うように子供を生みました。その結果、ねたみ合いが起こりました。数の大きさは祝福の大きさではありません。人と比較せず、心こそ開かれ、霊の子が与えられるよう祈りましょう。

	聖書	問題	答え
日	創世記 27:1-29	祝福にあずかったのはエサウでしたか、それともヤコブでしたか。	
月	27:30-40	祝福はいくつありますか。	
火	27:41- 28:9	エサウは父に祝福されたヤコブをどうするようになりしましたか。	
水	28:10-22	その場所を何と名付けましたか。	
木	29:1-14	ヤコブはラバンに事の次第をすべてどうしましたか。	
金	29:14-35	ヤコブはラケルと結婚するために、何年働きましたか。	
土	30:1-24	ラケルは子供ができなると分かると、姉をどうするようになりしましたか。	
	感想と祈りの課題		